

■米国：BPA、風力出力調整でダムの水位が低下、魚の生息に影響

7月26日付の業界紙によると、ボンネビル電力庁(BPA)の管轄区域で近年ダム水位が低下し、魚が減少するという環境問題が発生している。風力発電の出力変動を補償するために、水力を使用していることが一因とされる。BPAでは、現在31ヶ所のダムで出力調整を行っており、風が急に弱まった場合の補償を行っている。しかし、同地域には今後2013年までに6,000MWの風力発電設備が導入される見通しであり、既存の水力では容量不足になると予測されている。